



特別賞
「朝焼けに染まる」(撮影地:夕張市)
前田 昌一(夕張市)



<撮影エピソード>
朝焼けと、照り映えるメロンハウスを撮影しました。

<選考委員のコメント>
超然としていて、神々しくさえある朝焼けも、空の狭い都会では見落としてしまいがち。時間の流れや自然の偉大さを、心に刻みたいと感じさせてくれる、夕張ならではの魅力的な風景です。



特別賞
「迫る砂嵐」(撮影地:芽室町)
上杉 裕昭(三重県)



<撮影エピソード>
砂嵐が迫る中でも懸命に作業する姿がとても印象的でした。

<選考委員のコメント>
砂嵐に包まれる畝の美しい畑から、自然と人工の調和を感じます。畑の連なりは、まるでパッチワークのよう。この風景を生み出す生産者たちの声が、今にも聞こえてきそうです。

スペシャル企画③ 後世に残したい農村の風景が大集合!

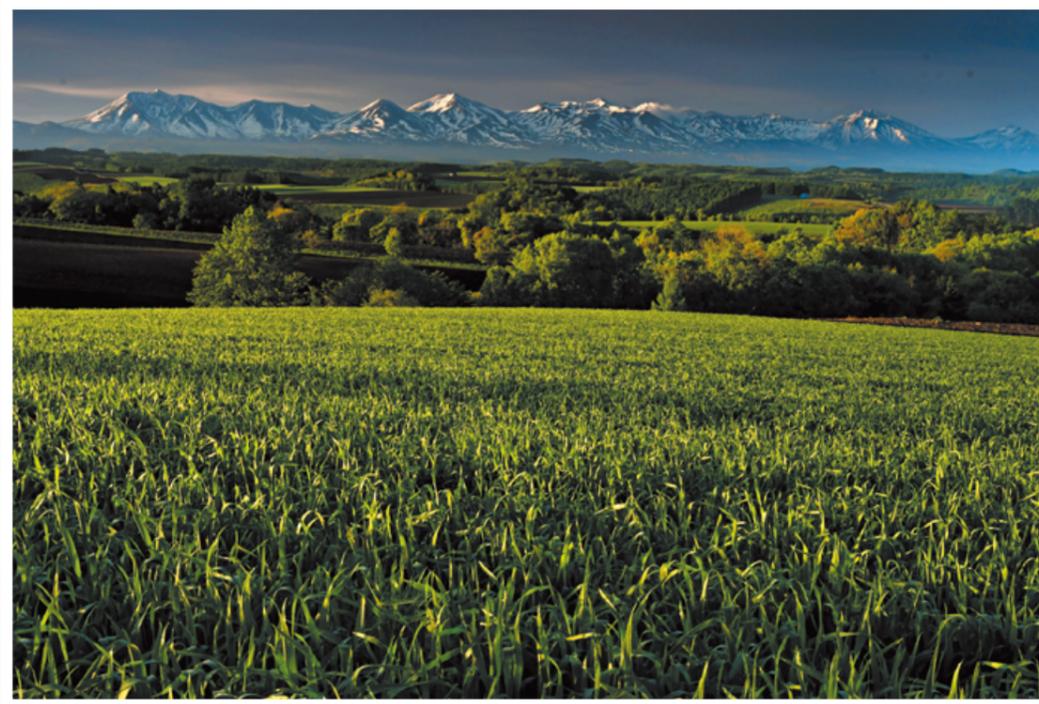
太陽と水と土
フォトコンテスト

100号発刊を記念して行ったフォトコンテストの結果を、選考委員のコメントとともにご紹介します。



最優秀賞

「旭光麦丘」(撮影地:美瑛町)
吉成 久和(札幌市)



<撮影エピソード>
昇り始めた太陽が十勝岳連峰を照らす、早朝に広がる荘厳な風景を狙って撮影しました。

<選考委員のコメント>
肉眼では捉えきれないであろう、壮大なスケールの光景を見事に写し撮っています。インスタレーションに匹敵するような没入感を与えてくれるこの作品には、息をのむほどの魔力があります。



特別賞

「支え合ひ」(撮影地:岐阜県飛騨市)
田中 里佳(江別市)



<撮影エピソード>
写っているのは、元気に働く祖父母の姿。心に残したい光景を切り取りました。

<選考委員のコメント>
背を向けたご夫婦が農作業をしているのどかな風景。太陽光のフレアによる青とオレンジが同居するドラマチックな色彩が、印象派絵画のような美しさを演出しています。

コンテストに寄せられた作品を一挙公開!
たくさんのご応募、ありがとうございました!



優秀賞

「妊馬の雪中運動」(撮影地:音更町)
糸賀 一典(千葉県)



<撮影エピソード>
観光で北海道を訪れ、ばん馬に出会いました。雪を蹴散らし爆走する姿に魅了されました。

<選考委員のコメント>
雪景色が余白となり、馬の存在を引き立てています。過酷な環境下だからこそ感じられる熱と生命力。脚音と息遣いが伝わって来るような一枚。